



2026年 7 月 3 日(金) 18:30-20:30

開場18:15/完全閉会21:00

## 2026年度 第1回 日本老年腫瘍学会 勉強会 「BSCでよい」と決める前に何を評価するのか

～認知機能障害を有する高齢がん患者を、多職種で支えるための老年腫瘍学～

高齢者では、認知機能や生活機能、支援体制によって、がん治療の実施可能性は大きく変わります。本勉強会では、認知機能障害と肺がんを有する高齢者の症例検討を通して、診断・治療の利益と負担、本人の価値観、家族・施設を含めた支援体制を多職種で検討します。「BSCでよい」と決める前に必要な評価と連携を、老年腫瘍学の視点から考えます。ふるってご参加ください。

### 内容

総合司会： 牧原 玲子（薬剤師）

#### 1. レクチャー

高齢肺がん患者における治療選択

水谷 友紀 先生(腫瘍医)

#### 2. ケース紹介・ディスカッション

重度認知機能障害を有する肺がん患者に、どこまで診断・治療を行うか

ケース紹介：水谷 友紀 先生(腫瘍医) ファシリテーター：石井 正紀 先生(老年科医)

ディスカッサント：

澤木 正孝 先生(腫瘍医), 成田 伸太郎 先生(腫瘍医), 福元 剛 先生(外科医/在宅診療医),  
山本 寛 先生(老年科医), 山口 潔 先生(老年科医/在宅診療医), 牧原 玲子 先生(薬剤師),  
渡邊 眞理 先生(看護師), 清水 奈緒美 先生(看護師), 原田 剛志 先生(理学療法士)

#### 3. まとめ

認知機能障害患者の意思決定支援

小川 朝生 先生(精神腫瘍科医)

WEB開催 締切り:6月27日(土)

事前申込み制 先着順(定員300名)

お申込みはURLまたは  
QRコードから ▶



<https://us02web.zoom.us/meeting/register/QhqAurk7RCuOS0bxiWVnqA>

《本勉強会に関するお問い合わせ先》

日本老年腫瘍学会勉強会事務局 E-mail: [jgos-support@jgos.jp](mailto:jgos-support@jgos.jp)

《主催》日本老年腫瘍学会(JGOS):

千葉県柏市柏の葉六丁目5番地1 国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科内

代表理事: 小川 朝生(国立がん研究センター東病院)

水谷 友紀(国立がん研究センター中央病院)